



「花」 田澤恵子 (吉村) (26-1)

シャドーボックス (何枚も絵を重ねることで立体感を出す手法) の作品。
興味のある方は、企画委員会主催行事欄 (P.5) をご覧ください。

わかば

ワカバ会

53 号

東京都立三田高等学校
同 窓 会

社団法人 ワカバ会

〒108-0073 港区三田1-4-46

電話 (03)3451-0227

FAX (03)3452-4590

E-mail :

t-mita@wakaba-kai.org

時間

午前10時～午後4時

休日

土曜・日曜・祝祭日

とにかく一度アクセスしてみてください！

ワカバ会のホームページ<YAHOO からの検索もできます>

<http://www.wakaba-kai.org/>

第66回 同窓会総会・懇親会のご案内

日時：平成15年 **5月18日(日)**

正午～午後3時

会場：母校音楽講堂

議題：平成14年度事業報告／決算報告
平成15年度事業計画／予算案審議
評議員改選

会費：1,000円

- ◆議事終了後、昼食を用意しています。先生方、同窓生打ちとけ合っの交流の場となっています。
- ◆福引き大会も行います。たくさんの賞品にご期待ください。
- ◆新会員(55回生)は無料ご招待です。卒業後の新生活を語り合う場となさってはいかがですか。
- ◆ホームカミングデーにあたる方は特典があります。次のページをご覧ください。
- ◆是非皆様ご出席ください。

会員の皆様へ

ワカバ会会長 小野 紘一
(813)



立高校の再編成が活発に議論されており、母校も大きな変革期を迎えることと思われまふ。

このような状況において、ワカバ会としても、母校が大きな流れの中で一層の発展を遂げることができるよう、支援をしていきたいと思ひます。

さて、かねてより軽井沢のワカバ山荘の運営については、会員の皆様のご意見を聴き、且つ、種々の方向を模索してまいりました。しかしながら、依然として利用者数は頭打ち乃至は減少の傾向にあるので、理事会としてはやむを得ず、山荘を一時閉鎖することと決定しました。

諸先輩の会員の皆様の残された大事な資産ですから今後もその運営についても、検討しつつ、一時休止する次第です。

このような訳で、とりあえず今夏が最後の運営となりますから、できるだけ多数の会員の利用を期待します。

なお、今年の総会においても、昨年好評だったホームカミングデーを継続いたしますので、該当する年度の会員の皆様が多くご出席され、母校の近況を見ていただきたいと思います。

また、パソコン委員会の人達の努力により、ワカバ会のホームページが開設されました。

会員の皆様に大いに利用して頂き、同窓生のネットワークを広げ、ワカバ会の多数の人材を集め、さらには活動の輪が広がることを期待しております。

伝統の継続

ワカバ会名誉会長 米田 敏男



平成十五年三月十四日(金)虎ノ門ホールにおいて平成十四年度卒業証書授与式が行われ、三年生二七七名が本校を巣立って行きました。卒業生の前途に幸多かれと切に祈るばかりです。

す。新会員をよろしくお願い致します。

さて、二十一世紀も数年が過ぎた今、前世紀末から引き続き国際化・地球化、情報化、科学技術の進展は深まるばかりです。それとともに、国際社会、国内社会とも大きな変動、変革の時代となっています。

私は、このような時代にこそ、学校教育の果たす役割は大きいと考えています。本校の教育目標は健康で知性が高く情操豊かで、積極的・誠実な人間を育成する、ということとす。私は、大きな変動・変革の現代社会において、不易なこの教育目標を改めて評価しております。さらに、現在進められている教育改革の理念の「生きる力の育成」とは本校の教育目標そのものであると考えております。

我が三田高校は、大正十二年開校以来二万名を越す有為な人材を送り続けてきました。このような本校の、長く輝かしい歴史に加えて、さらなる充実発展のために、ワカバ会会員の皆様方の物心両面に亘るご援助に感謝申し上げます。ともに、今後とも尚一層のご支援をお願い申し上げます。

ホームカミングデーの皆様、ぜひ総会へ！

ワカバ会では、昨年度総会から「ホームカミングデー」を新設し、多数の会員のご出席をお待ちしています。クラス会や同期会として活用して頂き、旧交を温めるとともに、母校をたずねて現況を知る機会にもして頂きたいと思ひます。今年のホームカミングデーにあたるのは、昭和8年(第66回生)、昭和18年(第616回生)、昭和28年(5回生)、昭和38年(15回生)、昭和48年(25回生)、昭和58年(35回生)、平成5年(45回生)の各3月に卒業された方々です。当日ご出席下さった皆様には集合写真を進呈します。また、福引きダブルチャンスのホームカミング賞、特設テーブルの設定もいたします。

軽井沢山荘一時閉鎖にあたって

事業運営委員会

委員長 山口謙一郎

(8-1)

平成十四年春号の会報でワカバ会軽井沢山荘の窮状を会員の皆様に訴えましたが、残念ながら同年の利用者は約五四〇名で前年と殆ど変わりませんでした。この状況をふまえて、ワカバ会評議員及び山荘利用経験者の中から無作為で選した二三名の会員と理事を交えて昨年十二月二日に山荘検討小委員会を開催し、率直な意見を聞かせて頂きました。

会報を見てファックス等を送って下さった会員の意見と同様に山荘運営継続の賛否がほぼ同数で、継続希望者からの提案の殆どが既に理事会で何度も議論し尽くしたか或いは実行したものでした。例えば、三田高に働きかけて現役生徒の利用を促す、三田高卒業生が多く在籍する大学にゼミ等の合宿を依頼する、同期会・クラス会での利用を促す、寄付金を募る、値上げする等々……他方、閉鎖論としては、赤字のタレ流しは即中止すべし、軽井沢自体に魅力が無い、立地条件が悪い(多数)、若年会員の愛校心の欠如、簡保会館等低料金で優良な施設に対抗出来ない等々、これらの意見を基に、本年一月二

十二日の理事会に於て慎重に討議を重ねた結果、本年夏の開荘をもって閉鎖するとの結論に至りました。しかしながら、完全閉鎖とするには資産処分等の問題がありますので、一時閉鎖の措置を取る事となりました。向う何年間という区切りは難しい問題ですが、再開に当たっては経済状況の好転等外的要因の他に、ワカバ会維持会費に多くを期待したいと思っております。現会員約二万名の内、維持会費納入者は約 20% (四千名) で、八百万円〜九百万円ですが、納入会員が 30% (六千名) ともなれば、山荘利用者が五百名程度でも駐車場収入からの繰入金と合算した助成金で山荘運営が可能になると思われます。いずれにしても、今後の山荘の維持、修繕費等を考慮すれば、一時閉鎖は止むを得ざる措置である事をご理解下さい。レジャーの多様化、海外旅行の大量化・低廉化、休暇の通年化、ライフスタイルの洋風化等の急速な時代の変化に抗する事が出来ずに消滅したユースホステルや一部の温泉旅館、

軽井沢山荘

～今夏限りで一時閉鎖に～

会社の保養所等と同様な道を辿らざるを得なかった事は残念でなりません。昭和五十七年(一九八二)の新館改荘時より二〇余年山荘運営に携わり、又本年度二〇回目を迎える運営委員会主催でのゴルフ会(山荘宿泊)幹事を永年続け、更に私立でさえ稀な山荘運営を行っていた都立高校の同窓会活動を誇らしく思ってきた一個人としては真に忍びない結果となり、無念です。

最後に、山荘をご利用下さった多数の会員の皆様、絶えずご協力を頂いた会長以下理事各位、予約等の細事を滞り無く処理してきた事務局の皆様、そして限られた予算で素晴らしい運営を全うして下さい下さった明食サービス(株)の方々に厚く御礼申し上げます。一日も早い再開を願って。

利用者中心に山荘検討小委 継続か閉鎖か、意見相半ば

理事会は昨年十二月二日夜、ワカバ会事務室で山荘検討小委員会を開催、評議員と山荘利用経験者から無作為に選んだ二三人(依頼者三三名中)と理事合わせて三〇名が、軽井沢山荘の運営を今後どうすればよいか、熱心に話し合った。

出席者は三田高校第四回卒業生から四三回卒業生までの各世代。その意見は、これまで事務局にメールやFAXで寄せられたものとはほぼ同じく、山荘の運営を継続すべきか、閉鎖すべきか、相半ばした。利用経験者は皆、同窓会の運営する山荘の良さを味わい、何とか心情的には閉鎖を避けたい、もつと利用者勧誘に努力すべきといった意見が語られた。一方、これだけ利用者が減り、昨年はキャンペーンしたにもかかわらず利用者数が増えなかった経過から、これ以上赤字経営を続けてワカバ会の活動の足を引っ張るとして閉鎖、または一時休止して今後のあり方を考えようとの意見も、世代を越えて述べられた。

山荘の運営に当たってきた事業運営委員会の山口委員長は、参加者から提案された利用者増加の対策は、これまで既に事務局や事業委員会が行ってきたものであり、それでも利用者が増えなかったことを指摘。山荘自体に痛みが来ていることもあり、今のままでは利用者勧誘にも魅力に乏しいが、寄付を募って立て直すにも利用者増加の予測が出来ないので計画できないと説明、今日の意見を参考に理事会で結論を出すに参加者に謝辞を述べて会を終えた。

(文責・広報委員会)

二〇〇二年初夏関西ワカバ会

18-イ 竹山 敦子(江川)

昨年はノーベル化学賞で日本中が湧いた二〇〇二年でしたが、前年にこの賞に輝かれた野依教授の御母堂は我が第六高女の五期生!この素敵な先輩を囲んで初夏の関西ワカバ会は五月二十九日、リッツ・カールトン大阪で三十三名の御出席を得、素晴らしい会が持てました。八十年代後半の野依様の何とお若くお綺麗な事!御自身、永年の点字のボランティアで立派な賞をこの年



前列右端筆者 二列目中央左から三人目が野依さん

この誇れる先輩を囲み、格調高いホテルでの美味しい食事は大盛會。会場がやや狭かったのです(幹事の予測違い)この窮屈さが皆様を女学生の昔に誘い、ホテル側が驚く程のにぎやかさ!諸先輩やお若い会友からの有益なお話も伺え、この日ばかりは我が身の老化も忘れ、明るく楽しく最高

高の一日を過ごせました。遠方より御参加の皆様にも心より御礼申し上げます。

三田13回生同期会

13-6 江本吉代江(妹尾)
佐々木君子(秋元)

平成十四年十一月十日(日)。新横浜プリンスホテル「胡弓」に、二十八人の元氣な笑顔が集まりました。

同期会は、今回で四回目となりましたが、最初は四組のクラス会から始まり、二回目から四組の呼びかけで、他のクラスも参加することになりました。今年、「還暦」ということもあって、大阪や茨城から駆けつけた人もいて、四十二年振りに会う人も多く、会場のおちろこちらで、歓声が上がりました。会も進んだ所で、各自マイク片手に近況とこれまでの人生を話す姿に懐かしい高校時代の面影が、浮かんで来ました。皆、人生の荒波を乗り越え幸せに暮らしている様子を、嬉しくなりました。最後に再会を約束し、全員で記念写真を写して散会となりました。今回の幹事は、三組です。今回以上の参加者をお待ちして居ります。



東海支部同窓会

15-7 藤井久美子(田村)
8-5 林 順子(中道)

そろそろ涼しくなりかけた九月十九日(木)、東海支部の同窓会を全日空ホテルズ「ホテルグランコート名古屋」で開催。二〇名のご参加。第六高女の大先輩から受験生を持つ若いお母様まで、標準語で、懐かしい先生方、地名、旧友についてのおしゃべりをおいしいお料理と共に満喫しました。

大先輩方が誰方も皆、まだまだ多くの事を勉強中という事に感心させられほとんどの方が「何か」を求めて日々向上していらつしやるのに、いつもながら刺激を受け、元気をいただきました。

そして、在学中には気がつかなかった母校の素晴らしさを認識させられます。最後に、

童謡、歌曲などを楽しみ、歌い次回を楽しみにお開きとなりました。

二次会にもほとんどの方が参加、名残りを惜しんでいらつしやいました。楽しい数時間の無事終了に感謝。



大切に思えたひととき

29-1 宮嶋由美子(古谷)

二十九回生の同期会が、昨年十一月二十三日(土)、銀座四丁目の「銀座スターホール」で開かれ、約八十名の方々が参加、楽しいひと時を過ごしました。

「卒業二十年」と銘打って行われた五年前の会では、お子様同伴の方も多かったのですが、今回は子育ても一段落といった感じで、時間を気にせずおしゃべりに花を咲かせる女性の姿も印





象的でした。これからは再会を楽しむ余裕も出てくる時期なのでしょうね。二十数年の間、殆ど会うことの出来なかつた友人とも、三田高生に戻つたかのように冗談を言い合えた時間を大切に思えたのは、私だけではなかつたと思います。思えば高校時代は中身の濃い凝縮した三年間でした。毎日がおもしろくて勉強に身が入らなかつた(?)くらいに。会場には先生方に挨拶する元生徒の皆さんの「あの時叱られた」とか、「あの教科は苦手で」などという声が響き、九階からの銀座の夜景をバックに、笑いの渦があちこちに広がっていました。

はじめて加藤先生の歌を聴いたのは、東京オリンピックの年で、北海道合唱界の花形指揮者だった鈴木清太郎先生のピアノ伴奏でした。加藤先生の音楽会では、同僚だった嵐野英彦さん(モリナガ「ソラソド」の作曲者)の歌曲を歌って頂いたりしてきました。高校在学中に聴いた越谷達之助作曲の「初恋」、当日も歌われました。越谷さんとは電話でしか話したことがありませんが、天国で越谷さんも加藤先生の演奏を最高だと聴いていることでしょう。その理由は、加藤先生の歌には、聞き手を捉え、この気持ちを伝えるシナリオとテクニックがあるからです。音楽を真に理解して体現している加藤先生の演奏は日本国内だけでなく海外でも認められています。加藤先生が楽しく、健康に歌とともに生きることが期待しています。



19-4 齋藤 博

楽しく歌う いつまでも

わか

同期会、クラス会、OB会、支部会など、同窓生のお集りならなんでも結構です。楽しい原稿を是非お寄せ下さい。

平成15年度 企画委員会主催行事

別紙連絡用紙でFAX、または電話、メールでお申し込みください。

会員以外の方も参加できます

- ① <第10回室内ゲーム(健康麻雀)大会>
期日: 2003年6月4日(水) 10時~17時
場所: JR市ヶ谷駅下車(徒歩5分)
千代田区九段4-7-17-4F "新樹"
講師: 健康麻雀指導者 田中正道先生
会費: 4,500円(会場費・昼食代・賞品代)
申込締切: 2003年5月23日(金) 定員20名

- ② <二期会見学会>
~9月公演予定の
オペラ「蝶々夫人」の舞台稽古~
期日: 2003年9月下旬(見学申込の方には、日程が決まり次第連絡します。)
場所: 東京文化会館(13時集合予定)
講師: 桐生郁子(4-1)(元昭和音楽大学教授)
会費: 4,000円(お茶代・見学科他)
申込締切: 2003年8月25日(月) 定員20名

※いずれの行事も
最少催行人数10名といたします。

- ③ <第7回ワカバ会小さな旅>
~三田界隈を歩く~
期日: 2003年10月1日(水) 10時~16時
集合場所: 地下鉄「麻布十番」4番出口
見学場所: 麻布十番-飯倉-麻布台
内容: 東京の最先端の街の中に明治、江戸の面影をみつけつつ初秋の街を歩く。(全行程で6Km位)
講師: 戸田雅子(19-1)
参加費: 4,000円(昼食代・資料代・保険代)
申込締切: 2003年9月19日(金) 定員20名
- ④ <第1回 シャドーボックス>
~立体的な絵の作品づくり~
期日: 2004年2月24日(火) 13時~
場所: ワカバ会事務局
講師: 田澤恵子(26-1)
内容: 4枚から5枚の絵をカットし重ねて立体的な絵を各人で作る。よってあなただけのオリジナル作品の誕生です。
会費: 3,000円(茶菓代・材料費)
申込締切: 2004年2月10日(火) 定員15名

維持会費納入のお礼とお願い

会計担当理事 平山 孔嗣 (29-2)

日頃はワカバ会活動に対し、格段のご理解ご協力をいただき、誠にありがとうございます。平成十四年度も会員の皆様よりの貴重な維持会費を主な財源とし、予算執行が滞りなくできました。

以前は、初代丸山会長始め先輩諸氏の篤志による基本財産からの運用収入と新卒会員の入会金収入で十分に活動を成り立たせることができました。しかし、この数年間は収益事業よりの剰余がないこと、低金利時代が長期化していること等が原因で、任意の維持会費がワカバ会の主たる財源となっており、一昨年から、会報「わかば」送付時に、春秋号ともに振込用紙を同封することによって、一人でも多くの皆様のご協力をいただけています。よう、お願いしてまいりました。しかし、当初、説明不足により、春秋重複して送金された方もいらつしやつたことを理事会も反省いたしました。会員の皆様には、一年に一回一口二千元をお願いすることを決定しました。さらに、会報秋号の発送手続き前に維持会費納入が確認された方にはその旨印字し、重複が起らないように手配いたしました。お預かりしました貴重な会費により、ワカバ会の活動を充実させていきたいと思っております。

ホームページも開設し、より情報をタイムリーに提供すると同時に、皆様からのメール等のご意見、ご希望をいただき、「より親しみやすいワカバ会」を目指しております。卒業生の皆様自身のお会費です。何卒主旨にご賛同いただき、一人でも多くの会員の方が、末永く維持会費にご協力いただけますようお願い申し上げます。

情報ひろば

◆三田高校26回生 卒業30年記念同期会

日 時：2003年5月24日(土)

一次会 午後4時～6時

二次会 午後6時半～9時

場 所：一次会「中国飯店」三田店

☎03-3798-1381 港区芝5-13-18

二次会「藩」田町店 ☎03-5476-0250

港区芝5-20-17 ルシマン田町ビル3F

会 費：11,000円(二次会会費、通信費含む)

(一次会のみ参加の方は、7,000円)

(二次会からの参加の方は、5,000円含通信費)

HPアドレス：<http://www.yutakamusen.co.jp/mita26/>

問い合わせ：幹事会 代表 安岡(26-6)まで

TEL 043-294-8815

情報ひろばはあなたのひろばです。どしどし情報をお寄せください。

◆三田高校6回生(昭和29年)卒業50周年連合クラス会

下記のとおり計画を進めています。なお詳細につきましては、次号にてお知らせいたします。

・日 時：2004年(平成16年)4月予定

・場 所：現在折衝中

・連絡先：5組 飯山精三

TEL 045-541-9738

FAX 045-541-5620

◆三田フィルハーモニーオーケストラ

第12回定期演奏会

日 時：2003年6月15日(日)

13:30開場/14:00開演

会 場：大田区民プラザ大ホール

(東急多摩川線下丸子駅南)

入場料：無料

指 揮：遠藤浩史氏

管弦楽：三田フィルハーモニーオーケストラ

曲 目：ベートーヴェン/交響曲第二番

メンデルスゾーン/序曲「フィンガルの洞窟」

ブリテン/シンプル・シンフォニー

問い合わせ：甲斐(03-3456-8702)

mitapo@geocities.co.jp

支部連絡先

札幌	32-6	伊藤 早苗	〒063-0811	札幌市西区琴似一条2丁目5-3-403	011-644-4418
東北	7-ウ	寺嶋 辰代	〒981-0411	宮城県桃生郡鳴瀬町野蒜字北赤崎32-7	0225-88-2028
さいたま	18修才	中村 泰子	〒336-0014	さいたま市前地3-5-12	048-885-7476
千葉	17-6	進藤英津子	〒261-0012	千葉市美浜区磯辺6-6-10-304	043-277-3469
湘南	20-ア	大久保千英子	〒248-0035	鎌倉市西鎌倉2-18-19	0467-32-5635
静岡	5-2	稲葉和寿子	〒422-8071	静岡市豊原町2-13	054-285-6573
東海	2-2	神野能生子	〒440-0806	豊橋市八町通4-48	0532-53-3261
関西	16-ア	松井 好	〒631-0804	奈良市神功5-9-24	0742-71-8226
京都	5-オ	山田 啓子	〒617-0824	長岡京市天神4-6-15	075-951-1477
福岡	7-3	爲数 俊子	〒818-0101	太宰府市観世音寺6-16-16	092-923-0849
大分	4-4	山下 延子	〒870-0826	大分市城南西町2A-27-2712	097-543-4233

小此木先生を悼む

19エ 茨木 万理



小此木先生
が本年一月十
二日、満百一
歳の充実した
御一生を安ら

かに完結されました。

「私が年をとったナと思ったのは九十過ぎてからよ」「何が不便って、一人で外に出して貰えなくなることよ」のお言葉に「先生、当たり前よ。私達だって親は一人で出しません」

こんなやりとりは、六・七年前だったでしょうか。恐れ入りました。戦時下の学徒動員で、「お国の為」の旗印のもと、建前論の中、先ず生徒の安全をと、会社側と論争して下さった御配慮は忘れられません。

お若くして未亡人となられ、幼児だった御子息二人をバアさんに託して勤務を続けられ、第六高女の各学年と三田高校の三回、六回以下を世に送り出されました。晩年は御家族に支えられ、お幸せな毎日でした。心から御冥福を祈ります。

追悼 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

所属	逝去年月	所属	逝去年月
小此木 慶 (亀山)	旧職員 平成15. 1	茂木 順子 (浜口)	10-ア 14.11
高田 豊雄	旧職員 15. 2	伊藤 鈴 (近藤)	11-ウ 14. 9
鈴木 寿美子 (鈴木)	1-A 14. 6	桜井 敦子 (増田)	12-ウ 14.10
坂本 ミサヲ (伊藤)	1-D 14. 8	大宅 栄子 (入倉)	12-オ 14.12
木原 波子 (住江)	1-D 14. 7	吉川 歳重 (武道)	12-オ
菊山 達子 (林)	1-E 14. 8	宮脇 信子 (宮脇)	14-ウ 14. 5
牧口 富美 (柄島)	2-A 14. 9	斎藤 美枝子 (平岡)	15-オ 14.11
岩井 ソウ (栗本)	2-A 14. 7	富永 佳子 (熊野)	18-ア 11.12
友井 三穂 (薄)	2-C 14.12	荒巻 あき子 (白石)	18-エ 13.12
尾口 都 (加来)	3-D 14. 1	濱口 禮子 (松原)	18-エ 14. 4
岡部 銑子 (竹田)	4-ウ 12. 6	藤里 恒子 (水町)	19-エ 14.11
林 敏 (増山)	4-ウ 14. 1	神山 ケイ (和泉)	20-ア 14.12
西 万寿枝	4-オ 14.10	土屋 陽子 (工藤)	5-3 14.11
鈴木 共子	5-ア 14. 8	西村 敬子 (西村)	5-7 14. 2
佐藤 薫子 (安川)	5-ウ 14. 1	横山 雅子 (広川)	6-7 14.11
町並 初枝 (一杉)	5-エ 14. 9	徳田 喜久江 (秋谷)	18-1 14.12
赤松 知恵 (角田)	9-ア 15. 2	斎藤 雅子 (大竹)	22-3 14. 7
木村 寿恵子 (菅田)	9-ア 14. 9	中村 理恵 (伊藤)	30-2 12. 1
館森 はな (田中)	9-ア 13.12	若林 俊雄	48-8 13.11
森田 キン	9-オ 14. 2		

OB会連絡先

(ワカバ会まで連絡いただければ、次回より掲載します)

部 名	代表者又は連絡係	卒業回数	〒	住 所	電話番号
アメフト	五十嵐 清	29-3	141-0021	品川区上大崎 1-5-10	3441-8384
三籠会 (バスケ)	山田 一穂	8-3	270-2241	大室様方 アメフト部後援会気付	047-364-7514
ラグビー	内藤 宗夫	25-7	270-1359	松戸市松戸新田 443-25	0476-46-4195
バドミントン	高木 俊輔	48-3	361-0022	印西市木刈 2-29-3	
弓 道	石井 健一	42-8	144-0052	行田市桜町 1-24-1-103	3732-4960
管弦楽 (室内楽)	甲斐 順也	44-8	105-0022	大田区蒲田 3-10-5-308	3456-8702
バレーボール	佐藤 大悟	47-2	144-0055	港区海岸 2-5-15-205	3733-1326
水 泳	井上 優子	51-3	144-0044	大田区仲六郷 1-24-9-601	5735-5280
卓 球	橋本 一夫	19-6	300-1266	大田区本羽田 1-29-15-401	0298-76-2101
フォークソング	和田 典也	33-4	108-0074	稲敷郡荏崎町自由が丘 430-12	5420-7650
				港区高輪 2-1-11-611	

P T A 広報誌より

三田高校と同校PTAからの依頼により、平成15年PTA広報誌「卒業生は今」欄に寄稿して下さった方々です。どうもありがとうございました。

内堀りえ子(三橋)(24-1)、野本由紀夫(30-3)

御寄付御礼

このたび11回生の方(匿名希望)から、2万5千円のご寄付をいただきました。ありがとうございました。

ワカバ会駐車場

(所在地:大田区鶴の木3-32-10) お近くにお住まいの方は、ご利用ください。駐車場料金等詳しいことはワカバ会事務局までお問い合わせください。

事務局だより

◆ ワカバ会事務局では、会報の表紙を飾る作品と、秋号に連載する「オセンチ山の思い出」の原稿(四百字程度)を募集いたします。締切:平成15年8月末日、宛先:ワカバ会事務局

◆ 事務局では、皆様のプライバシーを守るため、同窓会以外からの名簿の申し込みや、問い合わせに関しては、慎重に対応しておりますが、クラス会、同期会の幹事の方には、名簿、宛名プリントアウト(有料)を承りますのでご利用ください。

平成15年度 先生方のご異動 (敬称略)

教 科	転 出		転 入	
	氏 名	新所属	氏 名	旧所属
校 長	米田 敏男	退 職	揚村洋一郎	指導部主任 指導主事
国 語	永野 正忠	再任用退職	安野 徹	明正高校
国 語	岩崎 南美	八潮高校	桜井 功	小山台高校
主 幹			前原 義治	自校昇任
嘱 託 (教育相談)	川口 耕平	退 職		
嘱 託 (物理)	吉川 淳一	退 職		
嘱 託 (世界史)			植井 明	駒場高校
事務(経理 担当係長)	村田 幸子	世田谷泉高校	吉岡麻衣子	荒川工業高校
事 務 (主任)	小林 宏子	雪谷高校	吉田 直美	新規採用

編集後記

◆とうとう始まってしまいました、イラク攻撃。2003年は激動の一年になりそうな予感がします。(T)

ワカバ会ホームページ

— 作成者 田中 浩理事(32-5)に聞く —

◆田中さんは、ワカバ会のホームページを中心になって作っていただきましたが、内容についてご紹介ください。

— まず、みなさんに同窓会のことを知っていたくために、ワカバ会の沿革をまとめてみました。それから、維持会費がどのように利用されているのか、毎年総会に来ることができない会員の方々もいらっしゃるので、会計報告も見られるようにしました。あとは、一人でも多くの方が参加できるようにと、ワカバ会の年間行事予定表を載せてWEB上からでも、申し込みができるようにしました。

その他、事務局からのお知らせ、広報誌『わかば』のダイジェスト、会員の方からご連絡があった時は、『新着情報』にコンサートなどのお知らせも載せています。

◆特に工夫なさったところはどこですか。

— どのような情報を載せて、どのように更新して行くべきかということです。つまり、会員の方はどんな情報が必要で、また、ワカバ会としては、どのようなことを皆さんに知ってもらいたいのかということをよく吟味して掲載していくということです。ただし、これは口で言うほど簡単なことではありません。そのためには、会員の皆さんからのご意見が必要です。このホームページは、そういった会員の一人一人の声に少しでも応えられるように作っていきたいと思います。

◆今後どのような形で展開される予定でしょうか。

— 会報『わかば』はネット環境にない方々のためにも今後も発行していきます。その上で、このホームページ『ワカバ会』を発信していくのは、年2回の会報では伝えきれないものがあるからです。たとえば、即時性。新着情報に載せるような情報は、広報誌だけでは伝えきれないものです。それから、会員の方でホームページを運営している方も少なくありませんので、相互にリンクしていろいろな情報を伝え合っていくということも可能です。

また、技術的には可能であるけれど、あえてやっていないこともあります。掲示板(BBS)のようなものの場合、誰でも(会員以外の人でも)自由に書き込めて、即時性、という点では抜群ですが、個人的な誹謗中傷が出る恐れもあり、モラル的な問題で、今のところ行っていません。

今後の方向としては、広報誌では扱いきれないものをこちらのホームページで補足していくような形になると思います。つまり、なるべく情報を先取りしていくこと。それから、皆さんからいただいたいろいろなご意見や最新の情報を日々更新していけるように努力したいと思います。

まだまだ、始まったばかりですが、とにかくまずホームページ <http://www.wakaba-kai.org/> をご覧ください。いろいろな方のご意見を是非うかがって、改善していきたいと思っています。同期会・演奏会・出版等々ありましたら、ご連絡ください。できるだけ早く更新していきますのでよろしく願います。